

国民民主党 埼玉県第4区総支部長
埼玉県総支部連合会 代表

あさの克彦

「政治家」が変われば「政治」は必ず良くなる
そう信じて朝霞・志木・和光・新座の皆さまと
全力で行動していきます。

あさの克彦

検索



国の衰退を止め、発展・安定した国へ

「子供へのツケ」ってどういう事？

「子供にツケを残さない」というセリフは、いろんな政治家が使っていると思いますが、そもそも「ツケ」とは何でしょうか。

昔はよく借金だと言われていました。

日本の財政規律を正さなければ、日本はいずれ破綻してしまうので、借金を子供に残さないためには、我慢をしなければいけないといった論がありました。しかし、最新の経済論で行けば、通貨発行権を持っている国の、中央銀行、日本であれば日銀への借金に関しては、借金とは言えないということが理論的に証明されています。

もちろん、無尽蔵にお金を刷れる訳ではなく、概ねインフレ率2~3%までは、その理論が成り立ちます。従って、今は積極的な財政出動により経済を潤わせていく政策が必要です。

最初の話に戻しますが、では「子供へのツケ」とは何でしょうか。

国における子供世代に対するツケとは、国を衰退した状態で渡すという事ではないでしょうか。

数字を追いかけて新しい理論に目を向けることをせず、今までの常識にとらわれ、結果として国がどんどん

衰退した状態で渡していくと、子供たちは衰退した国の中で苦勞を強いられます。

大事なのは、発展していく、あるいは安定して成長する国の姿にしてから渡していくことだと、私は思います。



中抜きという悪しき風習

子供の世代に、日本が発展または安定した状態で渡すためには、ただ単純に消えていくお金ではなく、次なる産業を生み出していくところに、積極的にお金を出していく必要があります。

例えばIT分野や、ITを中心としたインフラの整備、国全体の交通網もだいぶ整っていますが、まだ足りない部分もあると思います。

そういった部分を新しい技術で発展させていくことが、日本には必要になってきます。

しかし、その際に「中抜き」という仕組みが問題となってきます。

日本は政府が出す事業を、ある特定の広告代理店が絡んでいる企業や、その広告代理店が直接運営する企業が受注することが多くなってきました。

今回のオリンピックでも、組織委員会の中にそういったものが見受けられます。

コロナにおける様々な対策にしても、COCOAと言われるアプリの開発、あるいは給付金の支給といった事業にさえ、なぜか広告代理店が関わっている企業・団体がまず国から受注をしています。

そして運営費から、一定の管理費か何かのお金を差し引き、実際に仕事をする企業に仕事を出しています。実際に仕事をする企業に直接発注すれば、その企業の利益は上がるでしょうし、もっといい仕事ができたかもしれません。

広告代理店の関係企業が何の仕事もしていないとは言いませんが、なぜ直接現場の仕事をしないうところでどんどんお金が抜かれていくのでしょうか。

~いっしょに「新しい答え」をつくりませんか？~

国民民主党 党員・サポーター募集！

お申込み・詳細は、国民民主党 埼玉県連ホームページ、またはあさの克彦事務所まで

国民民主党 埼玉県連HP ↓



中抜きを無くし、現場で働く方に届く財政出動を

日本は内需の国で、雇用を守らなければいけません。だからこそ昔でしたら、生産者がいて、買付業者や、卸売業者、仲卸業者を通して小売店・量販店に卸し、一般消費者のもとへ届く、といった流れがあり、いくつもの段階がありました。

しかし今、日本は労働力が足りないと言われてます。どうして労働力が足りないのに、このような間を通る流れをたくさん用意しなければいけないのでしょうか。少なくとも国や自治体の事業において、こういった中抜きの様なことを行っているのは、いつまで経ってもある特定の企業が利益を得て、実際に現場で働いている方達の収入が上がらない現状は変わりません。公共事業などは、決まった単価で、それなりの日当が出ることになっているのに、実際に現場で工事をされている方々の日当は、その半分や三分の一くらいになってしまうこともあると聞いています。

この中抜きを何とかしない限り、どんなに財政出動をしても、結局本当に現場で仕事をこなしている人たちが潤うことはありません。

だからこそ、こういった中抜きをどうやって止めるのかを考える必要があります。

国の事業であれば、発注先の仕事に対して、発注元である国はきちっと責任を持たなければいけない、といった縛りを作ることや、実際に仕事をせず、そのまま他の企業に外注するのであれば受注させない、などの決まりが必要です。

子供にツケを残さないのであれば、まずは借金を減らすことなく、衰退を止めることが必要です。そして、その衰退を止めるためには、まず中抜きをやめさせ、中抜きが無い状態の所に真水となるお金が入っていくような制度を構築することが、これからの日本には必要になってくると考えております。

防災ポスターの掲示にご協力ください

皆さんも街中で政治家のポスターを見かけたことがあると思いますが、私はせっかく町中に貼るのなら、自分のPRをするだけでなく、市民の方々に有益な情報を出せないかと考え、ポスターの下半分に、その場所から一番近いと思われる避難場所を掲載しています。

基本的にはどこの避難所に避難しても良いのですが、近くの避難場所がどこかということ普段から目にすることで、もし災害に

遭った時に、命が助かる確率が上がればいいと思っています。

様々な政治家の皆さんが真似をしてくれれば、町中にあふれる政治家のポスターを見れば、その地域の避難場所がどこかが分かるようになります。

朝霞市・志木市・和光市・新座市にお住まいの方で私の取り組みをご理解いただき、ポスターの設置にご協力いただける方は、あさの克彦事務所までご連絡ください。



国民民主党 代表
衆議院議員

玉木 雄一郎

私も応援しています！

私もあさの克彦さんを応援しています。
ぜひ、皆さまの力をお貸しください！

プロフィール

昭和 49 年 北海道札幌市生まれ
平成 10 年 北海道大学工学部卒
12 年 大学院中退後、IT 企業入社
13 年 前埼玉県知事 上田きよし秘書、後に事務所長
21 年 東京都議会議員を2期務める
30 年 タクシードライバーから
参議院議員公設第一秘書

中学・高校と柔道部に所属（初段）
好きなこと：運動、カラオケ、読書
好きな食物：白いご飯
ニックネーム：かつを
お 酒：酒は弱い飲み会好き
家 族：妻、長男、長女



連絡先

国民民主党 埼玉県第4区総支部

(朝霞市 / 志木市 / 和光市 / 新座市)

あさの克彦 事務所

〒351-0025

朝霞市三原 4-5-18 ベルコーポ I-102

TEL 048(483)5290 FAX 048(483)5291

E-mail info@asano-k.net